

## 新しいNAISのJournal 発刊に際して

NAIS 会長 高 弘 昇  
京都情報大学院大学 教授



世界のビジネス環境が情報技術により変化の速度が速くなり、競争が激しいグローバルビジネス環境へと急速に転換することによって多くの企業がその対応に追われています。また、デジタル経済活動に欠かせないIT人材の確保においても企業は少子化・高齢化の現状により厳しい環境に直面しています。

このようなビジネス環境を迎えて、アメリカの情報システム学会（AIS）の日本支部として2004年に創設され、11年間日本国内で専門雑誌の発行、ウェブサイトの運営など多様な活動を通じてITの普及に貢献してきたNAISはもっと積極的な対応を取る活動をするため、AISの日本支部から抜け出して日本応用情報学研究会（Nippon Applied Informatics Society）という名の下で独立な団体として活動を始めました。日本国内外のIT関連学会及び実務系団体と緊密な連携を持ちながら実学志向的な人材育成を始めとして、IoT関連ビジネス技術の開発などその役割を果たしていきます。また、情報システムを取り巻く実学志向的なビジネス環境において役に立てる情報を発信していくのに力を注いでいくと同時に、実学志向的な専門家が研究開発した成果物を関係する多くの人々に示す場を提供するため、NAIS Journalをもっと幅広くオープン化した専門雑誌にしていきます。特に、今回のNAIS Journalはこのような趣旨に沿ってITのいろいろな分野で活躍している研究者たちの研究成果を集めて発刊しています。

NAISはこれからも情報システムに関わる多様な活動の内容を多くの関係者にウェブサイトを通じて発信し共有していきます。また、様々な実学志向的課題に対応可能な研究活動について関連情報を発信し続けて積極的に関係者の皆様と共有していきたいと考えています。

今後もNAISはITによって急速に変わり続ける厳しいビジネス環境において企業が競争力を身に付け成長できるように企業関連応用情報システムの研究及び開発に貢献したいと考えております。